

事業計画書

番町地区まちづくり協議会

会長 中村 勝美

担当 副会長 内藤幹人

委員長 長安 博

(1) 事業名

みんなで学べる防災教室

(2) 事業目的

番町地区内で南海トラフ大地震による津波を想定した高台への一斉避難訓練を行い、さまざまな防災についての知識を得ることにより、番町地区住民に防災へのさらなる意識づけを植え付けることを目的とする。

(3) 事業内容

南海トラフ地震による巨大津波が起きた場合での地区内一斉の避難訓練及び防災の研修会

- a. 実施日時 3月2日(日) 9:00～ 12:30
- b. 場 所 笠岡市立中央小学校及び各町内会指定高台避難場所
- c. 参加募集 番町地区各世帯
- d. 参加人員 参加者 200名
- e. 外部協力者 笠岡市危機管理課、笠岡市立中央小学校
内部協力団体 笠岡消防団2部 番町婦人防火クラブ、各町内会
番町コミュニティー推進協議会

- (4) 期待する効果 災害が起きたときにスムーズな初期行動ができ、一人でも多くの方と一緒に避難することで、町内での連帯感が薄いといわれる番町地区で、防災をきっかけに地域の結びつきがさらに強化されることを期待している。

みんなで学べる防災教室 行程

日時 令和7年3月2日(日)

9:00~12:30

会場 笠岡市立中央小学校他

1. 避難訓練開始 防災無線で
2. 各地区一時避難所に集合
3. 役割分担をして高台に避難 10時までに避難完了を目標
4. 中央小学校体育館に集合
4. 開会あいさつ
番町地区まちづくり協議会 会長 11:00
5. 笠岡市長挨拶
笠岡市長 栗尾典子 11:05
6. 避難訓練を終えて
各町内会長 11:10
8. 南海トラフ地震の現在の想定について
11:30~12:30
9. 閉会
番町地区まちづくり協議会 副会長 12:30

避難訓練の実施方法について

- 9 時に各町内会で設定した時間に中央小と消防署にある笠岡市防災無線で避難訓練開始の合図をする。

中央小 消防署で放送、ポンプ車での町内放送を消防団に依頼

- 各家庭では笠岡市防災無線を聞いた後、必需品を持ち 10 分以内に家を出て各町内が指定する一時避難所に避難する。

- 町内会長をリーダーとして現状を把握し、役割分担をする。

一人でも多くの方に声かけを行い。一緒に避難所に逃げる

- 避難訓練終了後 11 時までに中央小体育館に誘い合わせの上移動

スリッパを持参

(移動は車、自転車でもよい)

- 中央小体育館に到着したら町内会単位で集合する

町内会長は人数を本部に連絡する。

- 受付及び本部は体育館入口入ったところに設置

番町地区避難行動要支援者申出カード

避難行動要支援者名簿への登録することで、町内会等避難支援関係者へ提供することを同意いたします。

避難行動の支援は必ずなされることを保証するものではなく、法的な責任や義務を負うものではないことを理解いたします。

同意いたします 年 月 日 氏名 _____

要支援者氏名 _____ 生年月日 _____

要支援者氏名 _____ 生年月日 _____

住 所 _____

連 絡 先 _____

緊急時の連絡先 _____

災害時の避難支援の内容

災害時に声掛けが必要

災害時に避難所まで歩けるが同行する介助が必要

災害時に歩いて避難所まで移動が困難なため介助が必要

具体的な介助の手段 車いす タンカ その他

避難所まで移動は困難なため自宅内で2階などへ移動の介助が必要